

令和6年度第2回佐伯市児童館運営委員会会議記録（抄録）

日時：令和7年2月25日 13時30分～14時50分

場所：佐伯市役所 6階 第1委員会室

出席：委員11名のうち9名出席（2名欠席）

事務局：（こども福祉課）金崎課長、甲斐総括主幹、吉良

（学校教育課）染矢総括主幹

児童館：佐伯児童館館長 塩月美佳、山崎守佐伯児童館所長

上浦児童館館長 河野貴史、曾根歩副館長

弥生児童館館長 植木優子

蒲江児童館館長 木許理恵、染矢社会福祉協議会事務局長（蒲江支部長）

傍聴人数：0名

1 開会

2 会長あいさつ

3 課長あいさつ（こども福祉課長）

4 議事

（1）令和6年度事業実績等について

令和6年度事業実績等について各児童館から報告をした。（令和7年1月末分まで）

【主な質問・意見】

- ・弥生児童館は教材や絵本をたくさん購入しているが、今後も使う予定があるのか。
→弥生地域子育て支援センターが管理し、他団体や行事で使うことになる。
- ・佐伯児童館の備品の管理は社会福祉協議会が行うのか。
→同じ社協が運営する上浦と蒲江の放課後児童クラブに渡すほか、こども福祉課を通じて他の児童クラブ等に渡せればと考えている。
- ・児童館が異世代交流の場として大きな役割を担っていただき、本当にありがたい。
- ・まだ残して欲しい活動はたくさんあると思うので、できれば今までサポートしてくださっていた団体の方と話し合い、1つでも活動が残っていけばいいと思う。
- ・皆さんのこどもたちに対しての愛情や想いを感じた。こども達の思い出に残り、いろんな大人の方や地域の方と関わったことは、一緒に思い出になり、それがふるさとに対する愛着や想いになるかと思う。佐伯を出て行く子も、その時のことを思い出し、ふるさとに帰ってきたくならないか。これからもまだ、こどもの人数が少なくなっても、佐伯で生まれてくるこどもたちを大切に育てていけたらと願う。

（2）その他

- ・なし

6 閉会